

“ありがとうが行き交う医療[®]”をみんなで創る 医療面接訓練士 MITP[®]FC 養成講座

“医療者の治したい想い”と“患者さん・ご家族の治りたい想い”

その懸け橋として「医療面接訓練7つの力」に参加して“ここに響く言葉と誠意と自信と覚悟”が伝わり合う「予防し治し支え合う医療」に貢献しませんか！

超少子・超高齢・多死社会に向き合う医療界。目の前のひとりの患者・家族と真摯に向き合うすべての医療専門職の皆さんへ、言葉でエールを送るだけでなく、実践を伴うサポートの手を差し伸べたい。

日本医療面接訓練評価センター:JaMITAC[®]は、その志を「JaMITAC[®]式 医療面接訓練 7つの力」に具現化しました。“次世代を拓く医療人”とともに学びはぐみ合い、医療者の達成感・充実感と、医療者・患者・家族・地域の「納得と安心と信頼」が通い合う“ありがとうが行き交う医療[®]”を実現させましょう！

講座内容

「医療面接訓練士 コンピテンシー・ディクショナリー」に基づいて設計

- 「総合的医療面接能力養成の重要性」「医療面接訓練7つの力」「医療コミュニケーションスキル」を理解する
- 医療面接訓練士チーム：MITP[®] FCの有用性を知る
- 医療面接訓練士チーム：MITP[®] FC技能を習得する
 - 1) 「患者／家族プロフィール・人生の物語り」創作
 - 2) パフォーマンス 3) フィードバック 4) アセスメント

講師

JaMITAC式 医療面接訓練士[®]コーディネーター
黒岩かをる

JaMITAC[®]代表の黒岩は、医療面接訓練士MITP[®] FCチームの想いを教育効果に反映させるために、発足以来、生きた教材/教育資源としてのMITP[®]FCの質にこだわってきました。医療面接訓練士MITP[®] FCの皆様には**プロフェッショナルとしての誇り**をもって効果的・効率的・魅力的な訓練評価を提供し達成感・充実感・満足感を得ていただけるようこころを籠めて鋭意プログラムを設計しています。



講師の「なぜ、この活動を？」は、下記「患者を生きる」に紹介されています。
http://www.kuntoh-juku.net/company/pdf/200809_asahi.pdf

日程

2017年 1月 30日 開講
全3回講座 (計18時間)

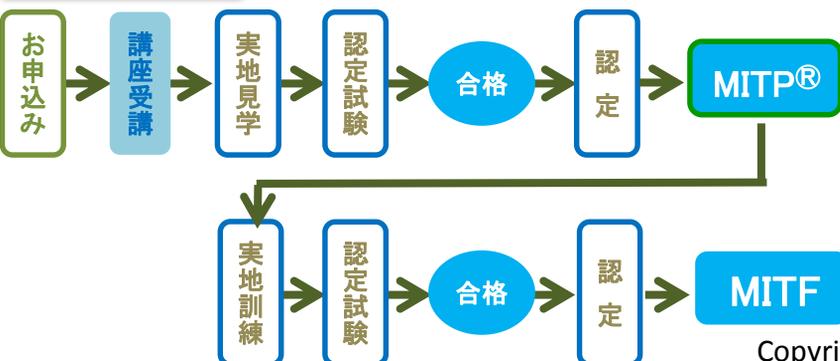
会場

JaMITAC[®] 東京本部研修センター「凜」
JaMITAC[®] 福岡支部研修センター「薫」

費用

- ◆ 受講料 無料 (年初特別企画)
- ◆ 実地見学 交通費等ご相談
- ◆ 認定試験受験料 資料代実費

資格取得まで



JaMITAC[®]式医療面接訓練7つの力における MITP[®]FCの役割

プロの医療面接訓練士 チームが、リアリティ溢れる「患者/家族プロフィールと人生の物語り」を創造して、臨場感あふれるシミュレーション・トレーニングの場を現出します。

学習者が、本気で真剣に向き合うことにより、医療者・患者・家族間の“認識や想いのズレ”へ気づいて、行動変容へと動機づけられる「気づいて変わる」学びのサイクルを生み出します。

JaMITAC[®]式
医療面接訓練士
チーム

「7つの力」を支える「3本柱」

インデックス
表示再生映像を
活用した双方向
対話型FB

総合的医療面接
能力評価/個人
行動目標設定
シート

JaMITAC式 医療面接

訓練士[®]チームメンバーの役割

MITP[®] (ミットピー) = Medical Interview Training Performer

パーフォーマー：患者・家族役に全神経を集中し、次世代を拓く医療人育成の現場に臨みます。

MITF (ミットエフ) = Medical Interview Training Facilitator

ファシリテーター：訓練当日の進行を担当し、受講者全員が真剣に本気で参加できるよう演出します。

MITC (ミットシー) = Medical Interview Training Coordinator

コーディネーター：現場のニーズに応じてプログラムの設計からフォローアップまでの統括指揮を担います。

JaMITAC式医療面接訓練士[®]チームに求められる能力

想像力 患者・家族の人生の物語りを綿密に創り上げ、アドリブさえもその患者・家族として発する人物設定

表現力 患者・家族プロフィールに忠実に、一貫性ある反応で、学習者を本気で真剣に向き合わせるリアリティ

対応力 やりとりで湧き起こったありのままの感情を、学習者の反応に気遣いながら伝える温かいフィードバック

JaMITAC式医療面接訓練士
チーム:MITP[®]FCは

患者の代弁者ではなく、医療者の側に立つものでもなく、両者をつなぐ**中立的な役割を果たす**“生きた教材”(教育資源:人間シミュレーター)

さらに経験により

MITC

Q MITP®FCは、シミュレーショントレーニング(ST)でどのように医療のお役に立つのですか？

A 日本の医療の質向上、安心安全文化に貢献できます。
医療者は、医療面接訓練士チームによる気づいて変わるSTによって「知識と技術を紡ぐ医療コミュニケーション」の重要性に気づき、“こころに響く言葉と誠意と自信と覚悟”が伝わり合う「総合的医療面接能力」が身に付きます。医療者一人ひとりが、その優れた専門能力を充分に発揮できるようになり良質で安全な医療の実現に繋がるのです。

Q 私は看護師／薬剤師です。医療者は模擬患者に向けていないと聞きますが、大丈夫ですか？

A はい、大丈夫です。職業や立場は関係ありません。
現在活躍している医療面接訓練士MITP®FCには、薬剤師さんや看護師さんもいます。非医療者の気持ちや感覚に近づくことができたり、想像力・表現力・対応力などのコミュニケーション能力は本業においても大変役に立ち、高いモチベーションの原動力になっています。非医療者だから向いている、医療者だから向いていないということはありません。

Q 医療面接訓練士パフォーマー：MITP®でなくとも、医療者同士でも十分ではないのですか？

A 学習者同士でのロールプレイは、どうしても「照れ」がでて「おままごと」のようになりがちです。
特に学生さんですと、年齢による人生経験だけの人物像の幅しか表現できず、リアリティが低くなることは否めません。医療面接訓練士MITP®は、医療者同士では伝わりきれない非医療者の感覚を、具体的な言葉や態度で表現して、リアリティと臨場感あふれるシミュレーショントレーニングの場を現出し、学習者の行動変容への動機づけを高め「気づいて変わる」学びのサイクル創出を支援するのです。

Q ボランティアのSP(模擬患者)さんとはどのように違うのですか？

A 医療面接訓練士MITP®：パフォーマーは、養成講座で訓練・認定されたプロです。
模擬患者という方法論は、非常に有効な教育方略であるが故に、学習者にトラウマをもたらすなど諸刃の剣となる危険性も孕んでいます。MITP®は自らを「医療者の人生に深く関わる教育資源である」と深く認識した上で、育成をお手伝いする役割遂行能力を身に付けたプロフェッショナルです。

Q 私や家族の闘病中にはいろいろ辛い体験をしました。その経験を活かせますか？

A 受療体験は、想像を膨らませるのに役立ちます。
しかし、過去に医療においてひどく傷ついたり、現在医療不信に陥っている人が、この場をかりて医療への不満を訴えたり医療者を批判したり非難したりする場にはなりません。患者・家族のこころの奥の声を、医療者に伝える意義は大きいのですが、責める気持ちからではなく学習者を支援する教育的視点から発する言動が非常に効果的なのです。

Q 医療面接訓練士コーディネーター：MITCはどんなことをする人ですか？その役割は？

A 教官・指導医、学習者、医療面接訓練士MITP®MITF全員の達成感・充実感・満足感を高めます。
医療面接シミュレーション・トレーニングに際して、教官や指導医/者は学習目標に沿った周到な準備をする必要があります。それには模擬患者の設定や心理的演出も含まれますが、実に手間と時間のかかる作業であり、忙しい教育/医療現場にそれを求めるのは至難の業です。MITCは訓練に関わる三者の懸け橋となり、円滑に最大の効果を挙げるための総合プロデュースを担います。

JaMITAC式 医療面接訓練士® チームの活動風景

医療者の物語りと患者の物語りが出会う医療面接の場



以前、薬を飲みたくないという役割を演じる模擬患者さんのデモンストレーションを見学したことがありました。医師役がどんなに共感的に働きかけても「飲みたくない」の一点張りだったので、なぜなのか聞いてみたら「シナリオにそう書いてあったから」と言うんです。それは**学習者に大変失礼ではないでしょうか？**
薬を飲みたくないのにはそれなりの背景があるはず。患者にはそれまでの生活や想いといった物語りがある。医療面接とは医療者の物語りと患者の物語りとのお出合いの場ですから、訓練の場でそれを語ることはなくても、そう想ったり考える背景まで設計しておかなければトレーニングになりません。だから、設定を細かく詰めておくのです。設定にないことを聞かれるとどうしてもその人でない自分が出てしまって微妙な齟齬が生じ、リアリティ溢れる教材としての十分な学習効果を発揮できないからです。
—代表 黒岩 インタビュー記事より—

詳細は、ホームページをご覧ください。https://www.jamitac.or.jp

東京本部事務局 〒104-0051 東京都中央区佃
東京研修センター「凜」 1-11-6-15F TEL (03)5548-3140
福岡支部事務局 〒810-0014 福岡市中央区桜坂
福岡研修センター「薫」 1-11-30-1F TEL (092)741-1815

応募やお問い合わせは info@jamitac.or.jp へ

＜納得と安心と信頼＞が通い合う
ありがとうが行き交う医療®

JaMITAC®

一般社団法人 日本医療面接訓練評価センター
Japan Medical Interview Training and Assessment Center